



門田 雅彦
公明党

子どもたちの情報通信端末の使用ルールづくりが大切では

問 ①本市における情報リテラシー教育は。

②学校ネットパトロールのチェック状況と対応は。

答 ①携帯電話やスマホ等の安全な利用を図るため、各学校は、無料通信アプリ使用の危険性など

を指導し、中学校入学説明会では家庭の使用ルールづくり、フィリタリングの設定、トラブル時の相談方法などを保護者と児童を対象に行っている。教育委員会としては、引き続き、児童生徒に携帯電話やスマホに潜む危険性を理解させるとともに、保護者への情報提供や研修会を実施し、正しい活用についても啓発していく。

②昨年5月から現在まで、個人を特定し誹謗中傷した書き込みは5件あり、学校と連携し、当該の児童生徒に対して指導を行った。



和田 芳明
公明党

人口減少対策は

問 ①本市の人口動態は。
②人口減少対策は。

答 ①自然減、社会減により、平成52年には約39万人にまで減少することが予測されている。
②自然減は高齢化による死亡数の増加、社会減は若い世代の進学や就職などによる転出が要因の一つ

と考えている。自然減抑制策として、結婚を希望する若者への出会いの場の提供のほか、少子化対策として一般不妊治療費の一部助成や医療・介護・福祉分野への就職の促進等に努めている。また、大都市圏で開催される定住フェアでの情報発信の強化等行っている。

また、充実した保育サービスやものづくり産業の集積など、これまで培ってきた本市の強みを最大限に生かし、豊かさが実感でき、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりを進める。



黒瀬 隆志
公明党

地方版総合戦略の策定は

問 現在の進捗は。

答 本市の人口の将来展望を示すため、現在、「結婚・出産・子育て」や「定住・移住」「進学・就職」に関するアンケート調査に取り組んでいる。また、総合戦略に多様な視点を取り入れるため、産・学・金・官に労働団体とメデイ



田中 光洋
誠勇会

協働のまちづくりの成果と課題、将来ビジョンは

問 地域住民による自主的・主体的な活動の成果と課題は。また、将来ビジョンは。

答 地域の将来像を住民自らが描く「地域まちづくり計画」の策定により、地域の特色を生かした住民主体のまちづくりが進められ

アを加えた「福山市総合戦略推進懇話会」を立ち上げた。

今後、調査結果を分析し、本市の人口ビジョンを示す中で、その実現に向け、若者の就労や、定住・移住などの施策を盛り込んだ総合



総合戦略推進懇話会

戦略を推進懇話会や市議会の意見を踏まえ、今年度10月末を目途に策定する考えである。

るなど、「自らのまちは自らがつくる」という住民自治意識の醸成につながっていることが成果である。課題としては、自主財源の確保や人材の育成などが挙げられ、引き続き、地域資源を活用したコミュニティビジネスや課題に即したまちづくりの先進事例を学ぶ機会の充実を図るなど、地域力を高める支援を行う。

将来ビジョンについては、地域における自主的・主体的なまちづくりが進み、人と人とながら支え合う地域コミュニティの実現をめざす。

※情報リテラシー教育：児童生徒に対して、情報の「探索・収集」「整理・分析」「表現・発信」等に関する基礎的な知識・技能および情報機器の適切な活用について指導するもの。
※学校ネットパトロール：委託を受けた専門業者が、市立小中高等学校に関連するキーワード等によるインターネット検索を行い、不適切な書き込み（誹謗中傷や犯罪予告など）を発見した場合は市教委へ連絡し、削除等について支援を行うもの。